

# 鎌倉市SDGsつながりポイント かわら版



鎌倉市SDGsつながりポイントは、鎌倉市で導入されている人と人をつなげるコミュニティ通貨です（「まちのコイン」というアプリを利用します。コインの単位は「クルッポ」）。このかわら版では、鎌倉市SDGsつながりポイントを通じて地域の人と仲良くなった！という体験談をお伝えします。

今回ご紹介するのは、人力車えびす屋鎌倉の代表・近藤仁さん。近藤さんは、去年の秋から毎月開催されている、クルッポで参加できるトレランに参加しています。

## 地域の方と仲良くなるきっかけに

「車夫の仕事は地域密着の仕事ですが、地域の方と仲良くなるきっかけが難しいですね。でも一緒に汗をかくことで仲良くなれるかな、そう思って参加してみました。」

初回のトレランで源氏山を走ったとき、頼朝の像の前で何気なく話した頼朝と政子のエピソードに、参加者から「面白い！」と反響が。その反応が嬉しくて、毎回まちのエピソードを話すように。「えびす屋」の他のスタッフも誘って参加するようになり、回を重ねるうちにイベント名も「えびす屋の人力車夫さんのガイド付き！トレラン講座」に変わっていました。

3月に行われたトレラン講座では、大町から名越の切り通しに入り、ハイランドから鎌倉駅までもどるコース。鎌倉・逗子などの近辺に住む11人で走りました。途中、八雲神社では祭神であるスサノオにまつわるエピソード、安国論寺やお猿島の大切岸では日蓮聖人のお話、衣張山では海街diaryの口ケについてなど、トレランだけじゃないプチガイドが参加者の楽しみのひとつになっています。

近藤さんは、初めて会った異業種の人とも一緒に走ったり、話したりすることで心の距離がぐっと縮まっていったそうです。また、普段まちで人力車を引いている車夫が山を走るといふ、その不思議な光景からか、まちの人たちからも話しかけられることが増え、さらに地域の人との交流が増えたそうです。

えびす屋鎌倉は、クルッポのスポット（加盟店）にもなっています。実は、え



びす屋の人力車にはごみ箱が積まれています。これは人力車のお客さんだけではなく、ごみの持ち帰りが大前提とされている観光客の方たちのためのもの。車夫さんもまちの中のごみを拾う時に活用しています。このことを、観光客にも地元の人にもあまり知られていないかもしれないと思ひ、「人力車の車夫にゴミを渡して下さい」という体験をつくって、「遠慮なくお声がけください。」と呼びかけています。

えびす屋は今年30周年。地域やスタッフ、お客さまとのさまざまな取り組みを予定しているそう。まちで車夫さんに会ったら気軽に声をかけてみてくださいね。トレランにも気軽にご参加を！

4.5.10  
鎌広受付